環境経営レポート

2023年4月～2024年3月

発行日　：　2024年　8月　1日

エフディ　フューチャー　株式会社

目　　次

１．　環境経営方針
　　・環境理念　　・行動指針

２．　会社概要

３．　対象範囲

４．　１）EA21　推進体制
　　２）役割・責任・権限

５．　環境経営目標

６．　環境経営活動計画と実施評価

７．　環境経営活動実績

８．　環境経営活動結果とその評価

９．　代表者による全体の評価と見直し

１０．　法的要求事項などの遵守状況管理表一覧

環 境 経 営 方 針

【環境理念】

当社は、地球環境保全が人類共通の重大な責務である事を認識し

「恵み豊かな生活と次世代への継承」 を実現するために、「課題と

チャンス」を踏まえ、以下の行動指針を推進していきます。

【行動指針】

1. 環境に関する法令や条例、その他規制を受ける事項を遵守します。

2. 当社が行う事業活動が環境に与える影響の中で、特に以下の項目

について優先的に活動し、持続可能な環境負荷の削減に努めます。

①省資源、省エネに努め、CO_2削減 に取り組みます。

②工程の改善による原材料ロス低減と良品率向上や適正な
分別の実施により、廃棄物の発生抑制と減量化・リサイクル
向上に取り組みます。

③計画的な事業運営強化の為、年齢構成変化を踏まえた計画的な
人材育成・教育に取り組みます。

④設備の点検・整備を確実に行い、効率化を図るとともに、事故・
不具合の発生を未然に防止できるように努めます。

3. 全従業員が環境方針を理解し、自らの役割を認識し、本方針に
沿って、活動が行われるように環境教育を進めます。

改定　2024年　7月　12日
制定　2012年　7月　1日

代表取締役社長　　芹澤　通彦

２. 会社概要 （2023年度）

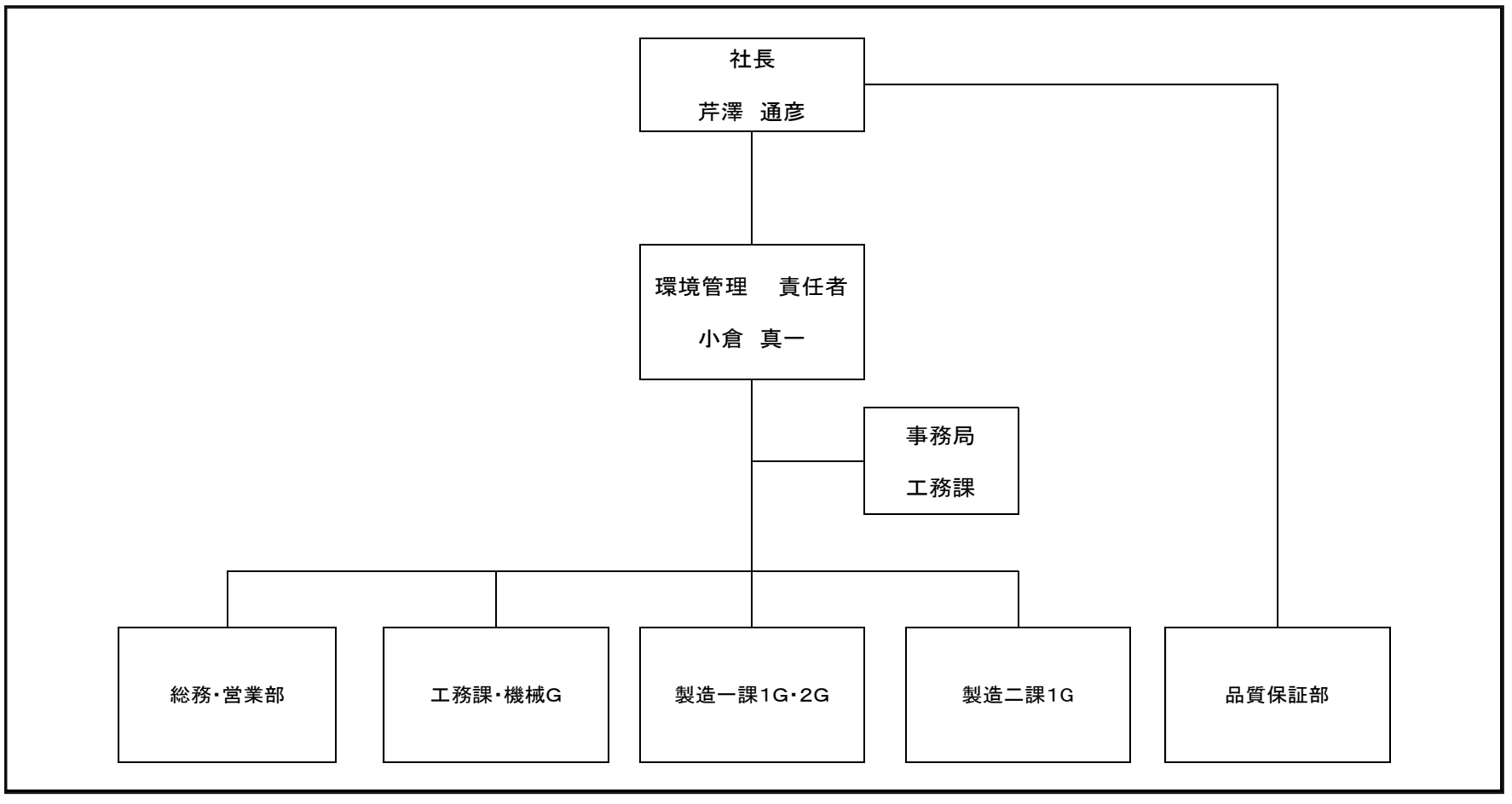
（1）事業社名	エフディ フューチャー　株式会社
（2）設立	昭和36年10月26日
（3）資本金	３，000万円
（4）代表社名	代表取締役社長　芹澤　通彦
（5）所在地	本　　社：〒386-0403　長野県上田市腰越1544番地 TEL 0268-42-3151　FAX 0268-42-3724 丸子工場：〒386-0403　長野県上田市腰越1544番地 武石工場：〒386-0506　長野県上田市武石下本入30番地
（6）延床面積	８，190㎡
（7）事業内容	真空凍結乾燥食品（味噌・野菜・果実等）、 調味食品・健康関連食品・即席麺用具材包装等
（8）従業員数	75　名
（9）売上高	264,030万円
（10）環境管理責任者	工務課長　小倉　真一

３. 対象範囲

全社・全活動を対象とする

（1）対象事業所	本社・丸子工場、武石工場
（2）事業範囲	真空凍結乾燥食品（味噌・野菜・果実等）の製造・販売、 調味食品・健康関連食品・即席麺用具材包装等の製造・販売

4-1. エコアクション21推進体制



４－２. 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者 （社長）	1. 代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ 2. 環境管理責任者を任命しEA21の運用に責任と権限を与える 3. 環境経営方針を策定し、従業員に周知する 4. EMSの実施及び管理に必要な（人・物・金）への投資の承認 5. エコアクション21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する
環境管理責任者	1. エコアクション21の要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行して、環境面の実績を向上させる 2. 上記結果を代表者に報告する 3. エコアクション21文書類（環境経営方針を除く）の承認を行う 4. EMS全般の舵取りを実施
環境安全衛生委員会	1. 環境委員会（安全衛生委員会）での、指摘・指示事項を全従業員へ周知する 2. 環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
EA21事務局	1. 環境への負荷及び取組の自己チェックと取りまとめ 2. 環境経営目標・環境改善項目の取りまとめ 3. 環境関連法規則の遵守状況の確認及び情報収集 4. 環境経営計画兼進捗管理表による状況報告及び評価 5. 社内外の環境情報の収集と伝達を実施する 6. 環境経営レポートの作成及び外部コミュニケーションへ記録
職長及び全従業員	1. 環境経営方針を理解し対応をしていく 2. 職場毎に、関連する法規制などを遵守する 3. 職場毎に、教育・訓練を実施する

5. 環境経営目標

2020年度～2022年度の平均数値を基準とし環境経営方針に則り、電気・A重油の使用量を0.5～1.0%の削減、その他項目は維持を目標とする。

環境方針	環境目標 （2025年度まで）	削減・維持 目標数値 2023年度	削減・維持 目標数値 2024年度	削減・維持 目標数値 2025年度	単位
省エネルギー 省資源	電気使用量0.5～1.0%の削減	3,609,540	3,573,445	3,537,710	kWh
	A重油使用量0.5～1.0%の削減	385,803	381,945	378,126	L
	ガソリン使用量の維持	783	783	783	L
	軽油使用量の維持	2,410	2,410	2,410	L
	灯油使用量の維持	153	153	153	L
	LPG使用量の維持	493	493	493	kg
CO_2排出量の削減	総排出量0.5～1.0%の削減	2,712,295	2,685,172	2,658,321	kg-CO_2
産業廃棄物の削減	廃棄物(食品を除く)の維持	97,410	97,410	97,410	kg
	動植物残渣の維持	21,220	21,220	21,220	kg
食品リサイクル率UP	リサイクル率の向上%	68.5	68.5	68.5	%
省資源	水の効率的使用	17,391	17,391	17,391	m^3

備考欄・・2025年度まで上記目標が基準

電気CO_2換算：2022年度中部電力ミライズ発表の排出係数0.459kg-CO_2を使用

環境責任者
小倉

6. EA21環境経営活動計画と実施評価

実施 ： ○: 活動出来た △: あと一歩 ×: 不十分

環境目標	責任部門（責任者）	チェック頻度	目標数値 上期	目標数値 通期	単位	環境活動計画（具体的な取組内容）	実施月 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気使用量の削減	全社	6ヶ月毎	1,804,770	3,609,540	kWh	冷凍機の高圧管理・適正運転	○	○	○	○	○	○	○	○				○
						ｴｱｺﾝの効率的使用（就業時以外では、ﾐﾆﾏﾑ運転）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						冷暖房の設定温度事務所厳守（夏季28℃冬季20℃）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						空調ﾌｨﾙﾀｰの定期的清掃（毎週金曜日実施）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						使用していない間の照明の消灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
重油使用量の削減	製造部	6ヶ月毎	192,902	385,803	L	蒸気漏れ・管保温の徹底（月に一度目視にて確認）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						GWとお盆休暇でのボイラー運転の見直し		△			△					○		
						空調機の適正運転、温湿度管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減	全社	6ヶ月毎	392	783	L	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ運動展開	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						自動車の適正整備（ﾀｲﾔ空気圧適時確認）		○			○			○			○	
						アイドリング運転時間の削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						余分な荷物を積まない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軽油使用量の削減	営業部	6ヶ月毎	1,205	2,410	L	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ運動展開	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						アイドリング運転時間の削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						自動車の適正整備（整備不良による燃費のロス削減）						○						○
						余分な荷物を積まない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
灯油使用量の削減	機械G工務課	6ヶ月毎	77	153	L	ジェットヒーターの適正利用								△	△	○	○	△
						使用機器のメンテナンス		○					○					
LPG使用量の削減	事務所品証部	6ヶ月毎	247	493	L	魔法瓶の活用化			○			○			○			○
						給湯器等の適正利用			○			○			○			○
産業廃棄物の削減	全社	6ヶ月毎	59,315	118,630	kg	各課での不良品の削減	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
						廃棄物の適正な分別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						包装不良の削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						選別工程の外注化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						原料・製品の適正管理(生産量含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
食品リサイクル率UP	全社	6ヶ月毎	69	69	%	各課での不良品の削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						廃棄物の適正な分別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						包装不良の削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						選別工程の外注化			○						○			
						原料・製品の適正管理(生産量含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						リサイクルできる事業所情報の収集						○				○		
節水	全社	6ヶ月毎	8,696	17,391	m^3	節水の指導			○			○			○			○
						漏水の確認			○			○			○			○

4～9月期 活動評価	夏季の温湿度管理や、水温上昇による機器運転負荷によりエネルギー使用が増加傾向にありますが、日々の業務において常に意識し、活動が継続できている。引き続きよろしくお願いします。
10～3月期 活動評価	今季も寒くなる日が多く電気や燃料の使用が増加すると考えておりましたが、適正利用・維持管理を心掛けていただき、想定より少なくなる見込みとなりました。ご協力いただきありがとうございます。

備考欄・・・・ 1. 高効率モーター搭載の用水汲み上げ用渦巻ポンプ更新

2. 品質保証室エアコン更新

7. 環境経営活動実績

環境への負荷の現状

環境方針	環境目標	削減・維持 目標数値	単位	2023年度		備　　考
				実績値	目標達成率 （%）	
省エネルギー 省資源	電気使用量の削減	3,609,540	kWh	3,619,693	99.72	中部電力ミライズ23年度排出係数
	CO_2　換算	#REF!	kg-CO2	1,589,045		0.439　使用
	A重油使用量の削減	385,803	L	350,554	110.06	
	CO_2　換算	#REF!	kg-CO2	950,001		
	ガソリン使用量の維持	783	L	1,124	69.70	
	CO_2　換算	#REF!	kg-CO2	2,607		
	軽油使用量の維持	2,410	L	2,420	99.61	
	CO_2　換算	#REF!	kg-CO_2	6,337		
	灯油使用量の維持	153	L	515	29.76	
	CO_2　換算	#REF!	kg-CO_2	1,282		
	LPG使用量の維持	493	kg	359	137.48	
	CO_2　換算	#REF!	kg-CO2	1,076		
	CO_2　合計	#REF!	kg-CO2	2,550,349	#REF!	
産業廃棄物の削減	廃棄物(食品を除く)の維持	97,410	kg	79,550	122.45	
	動植物残渣の維持	21,220	kg	18,080	117.37	
食品リサイクル率 UP	食品リサイクル率の向上	68.5	%	77.4	112.96	
節水	水の効率的使用	17,391	m^3	12,170	142.90	

8. 環境経営活動結果とその評価

2023年度目標	部署	達成状況	評価・コメント(環境管理責任者)
電気使用量の削減 ・FD効率的乾燥・冷凍機の過負荷運転低減 ・ｴｱｺﾝの定期清掃・稼動抑制 ・ｴｱｰ漏れ点検・修繕の徹底 ・新規設備購入時、省エネ機器の導入	全社	昨年実績 3,733,854 kWh 目　標 3,609,540 kWh 実　績 3,619,693 kWh	今期も増加を想定していたが、昨年度比、3年平均値目標比ともに削減できた。生産品種による影響も強いと感じているが、定期点検や空調機設定温度の調整など、日々の努力による影響も多分にある。武石工場の稼働ラインを丸子工場へ移動したことも、効率的利用に繋がっている。 引き続き削減の可能性を模索し、継続していきましょう。 達成度 99.7 %　評価 ○
重油使用量の削減 ・蒸気漏れ・保温材見直し・ﾄﾗｯﾌﾟの点検 ・長期休暇での稼働時間の見直し	製造部	昨年実績 372,568 L 目　標 385,803 L 実　績 350,554 L	23年度もGWや夏季の長期休暇にボイラーを運転していたがミニマム運転を行い使用量の削減を図った。削減につながった要因として生産品種による影響が強いと考えているが、温暖化による気温上昇の影響も考えられる。引き続き効率的使用に繋がるよう継続していきましょう。 達成度 110.1 %　評価 ◎
ｶﾞｿﾘﾝ　使用量の削減 ・タイヤの空気圧　管理 ・ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ運動展開	全社	昨年実績 836.5 L 目　標 783.3 L 実　績 1,123.8 L	23年度はコロナ禍によりかかっていた制限が解除され、社有車の使用が多くなったことにより、大きく増加した。燃料費も高い状況が続いているため、引き続き適切な使用をお願いするとともに、代替案も検討していきましょう。 達成度 69.7 %　評価 △
軽油　使用量の削減 ・タイヤの空気圧　管理 ・ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ運動展開	営業部	昨年実績 2,167.1 L 目　標 2,410.0 L 実　績 2,419.6 L	日々の適切な利用により大きな変動もなく、維持できている。今後も継続していきましょう。 達成度 99.6 %　評価 ○
灯油　使用量の削減 ・ジェットヒーターの適正利用 ・使用機器のメンテナンス	機械G 工務課	昨年実績 225.6 L 目　標 153.2 L 実　績 514.8 L	今季は凍結庫の融氷作業を通年より多く実施したことや、冬季の野外作業での使用が多かったことで増加した。状況を適切に精査し、維持・削減に取り組んでいきましょう。 達成度 29.8　評価 △
LPG　使用量の削減 ・LPG使用機器の適正利用	事務所 ＋ 品証部	昨年実績 469.6 L 目　標 493.3 L 実　績 358.8 L	春秋季が暖かい日が多く、温水利用が減ってきているのではと考えている。引き続き適切な利用を継続していきましょう。 達成度 137.5 %　評価 ◎
CO2の削減 全体を見直す	全社	昨年実績 2,733,085 kg-CO2 目　標 #REF! kg-CO2 実　績 2,550,349 kg-CO2	上記エネルギー利用の総合結果なので、今後も継続して改善できるよう努めていきましょう。 達成度 107.2 %　評価 ○
産業廃棄物の削減 ・各課での不良品削減 ・選別品の外注依頼	全社	昨年実績 97,030 kg 目　標 97,410 kg 実　績 79,550 kg	今期も活動を継続してきてくれた結果削減することが出来た。引き続き、維持・削減にむけて活動を継続していきましょう。 達成度 122.5 %　評価 ◎
節水 ・節水運動 ・工程管理	全社	昨年実績 13,861 ㎥ 目　標 17,391 ㎥ 実　績 12,170 ㎥	今季も生産品種や温暖化の影響により、削減につながったと考えているが、日々の節水意識により昨年度比で削減に繋がっている。引き続き維持・削減に向けて活動を継続していきましょう。 達成度 142.9 %　評価 ◎
動植物性廃棄物の削減 ・発生量 ・発生抑制量 ・再生利用量 ・熱回収量 ・廃棄物としての処分量 ・食品リサイクル率UP	全体	昨年実績 18,560 kg 目　標 21,220 kg 実　績 18,080 kg 実　績 45,219 kg 実　績 3,760 kg 実　績 0 kg 実　績 14,320 kg 目　標 68.5 % 実　績 77.4 %	今季は大きな廃棄に繋がるトラブルは少なく、昨年度と大きな変化は見られなかったが、削減はできた。再利用可能な廃棄物は弊社ではさほど多くない為、日々の工程管理や意識が大きく影響すると考える。維持・削減に向けて、意識し行動してくれているおかげで今回の結果となっている。引き続き継続していきましょう。 廃棄物の肥料化について、昨年度比で増やすことができた。各現場の協力により、今回の結果につながったことは大変良かった。引き続き再生利用可能な廃棄物は、適切に分別していけるよう継続していきましょう。 達成度 117.4 %　評価 ◎

評価　◎:最良　○:良　△:改善提案　×:改善指示

目標到達レベル　緑:100以上　無し:99～95

9.代表者による全体の評価と見直し

見直した時期 ： 2024年 7月 31日

エフディ フューチャー　株式会社

代表者 ：　　芹澤　通彦

見直しのために提供された情報の確認

チェック

○ 1. 環境への負荷・取組み状況

△ 2. 環境目標の達成状況

○ 3. 是正処置・予防処置の状況

○ 4. 前回までの”見直し”結果に対するフォロー

△ 5. EA21審査指摘事項に対するフォロー

○ 6. 環境関連の法規等の遵守状況

チェック

○ 7. 世間一般の環境上の動き（それと当社との関係）

△ 8. 改善のための提案

評価 ○ ： 良好
△ ： あと一歩
× ： 努力不足

※情報提供は、原則として環境管理責任者が行います。

代表者による評価

2023年度の結果は、取組が機能し一部を除いて概ね計画通り進捗出来たと考える。但し、電気・重油等のエネルギー使用量は、生産数量及び生産品種により影響を受けるため、更なる改善には違う角度からの取組が必要と考える。
また、廃棄物の処理量についても、工程改善や確認不足による余剰在庫等の削減は可能と考え、対応を進めて行きたい。

仕組み上の変更の必要性の有無の確認

1. 環境経営方針の変更　⇒　（ 要 ／ 不要 ）
2. 環境経営目標の変更　⇒　（ 要 ／ 不要 ）
3. 環境経営活動計画の変更　⇒　（ 要 ／ 不要 ）
4. 環境経営システム(実施体制含む)の変更　⇒　（ 要 ／ 不要 ）

【指示内容】

① エネルギー使用量及び廃棄物削減に向けた新たな取組方法を創出し、部署間のコミュニケーションを図り、更なる改善対応を実施していくこと。

② 利害関係者より、SDGs含め様々な環境対応が求められている。
積極的な情報収集を進め、状況の変化に対応しながら、各部署ごとに必要な取組を考え、対処していくこと。

10.法的要求事項等の遵守状況管理一覧表

確認日： 2024 年 7月 18日

1）該当する法規を選択し●、該当しない法規はXを付ける
2）環境基本法等の罰則のない法規は割愛する
3）法的要求事項（行ごと）に遵守状況を記載する

該当●、非該当X　　**対象事業所：ｴﾌﾃﾞｨ ﾌｭｰﾁｬｰ　株式会社**

該当	担当部門	法的要求事項等の名称	監視・測定項目（適用施設・業務等）	法的要求事項の内容及び基準	監視・測定プロセス、使用機器等	遵守状況 ○：遵守、△：対策中、X不適合
●	機械G	消防法（危険物）	危険物（1類～6類）が指定数量	危険物貯蔵施設の設置許可（指定数量7．5倍）	タンク内液層・気層年次点検	○
				危険物取扱者の届出（危険物乙種4類）	（ﾕｰﾄﾋﾟｱ産業）	○
				貯蔵、取扱の基準の遵守	地下重油タンク 漏れ点検の実施	○
			危険物貯蔵施設	少量危険物の設置許可（指定数量1/5以下）	点検実施	○
●	工務課	大気汚染防止法	ボイラー （3,600m3/h）	設置の届出・変更及び廃止届出	外部委託（三浦工業）	○
				排出基準の遵守（10,000m3/h未満の為対象外）		○
				ばい煙量の測定及び記録		○
				ボイラー技師資格（ボイラー技能講習以上）		○
●	工務課	水質汚濁防止法	排水処理施設	特定施設の届出・事故時の措置	外部委託（ソイイースト社）	○
				水質基準の遵守		
				測定、記録		○
●	総務部 工務課	浄化槽法	浄化槽70人槽	施設届出	浄化槽協会による年次点検	○
				水質管理 （定期点検・清掃）	外部委託（東京理工器）	○
●	工務課	騒音規制法 上田市公害防止条例	コンプレッサー、送風機（原動機の定格出力1.0kw以上）	上田市条例特定施設の設置届出済み（31kw・15kw・8kw）	騒音レベル測定器	○
				騒音規制基準（武石工場規定なし）		○
●	機械G	フロン排出抑制法	第一種特定製品 （業務用エアコン、冷凍冷蔵機器）	・対象機器の特定（7.5kW未満か以上か、50kW以上か） ・簡易点検（自主）、定期点検（有資格者） ・冷媒回収／充填した場合、証明書の交付を受け保管	点検の実施 マニフェストの管理	○
●	工務課	省エネ法	第二種指定工場 原油換算 1,500kl	2010年4月に過去3年間 原油換算にて1,500KLを下回っているので指定取消し申請書を提出済み 毎年確認	弊社にて換算	○
●	工務課	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物 廃プラスチック類、 金属くず、ゴム屑、 ガラスくず及び陶磁器くず、 廃酸、廃アルカリ 感染性廃棄物 食品残渣	一般廃棄物、産業廃棄物保管基準の遵守	産業廃棄物保管表示板	○
				一般廃棄物、産業廃棄物の収集、処理委託基準の遵守	委託契約書	○
				産業廃棄物管理票による管理	電子マニフェスト化	○
				産業廃棄物管理表交付状況の届出（毎年6月末まで）	電子マニフェスト化	○
●	工務課	食品リサイクル法	食品廃棄物等多量発生事業者	・2012年再生利用実施率 67．9%を基準値とする。	食品リサイクル率の継続的維持・向上を目標とする。	○
●	工務課	家電リサイクル法	家電リサイクル法対象4種	家電リサイクル法の遵守・適正処理業者への依頼	証明書の保管	○
●	工務課	容器包装リサイクル法	特定事業者	再商品化委託の実施	委託契約書	○